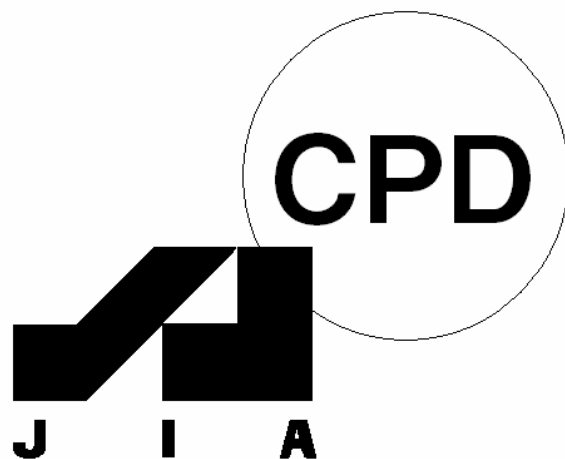




JIA

「CPDマニュアル」

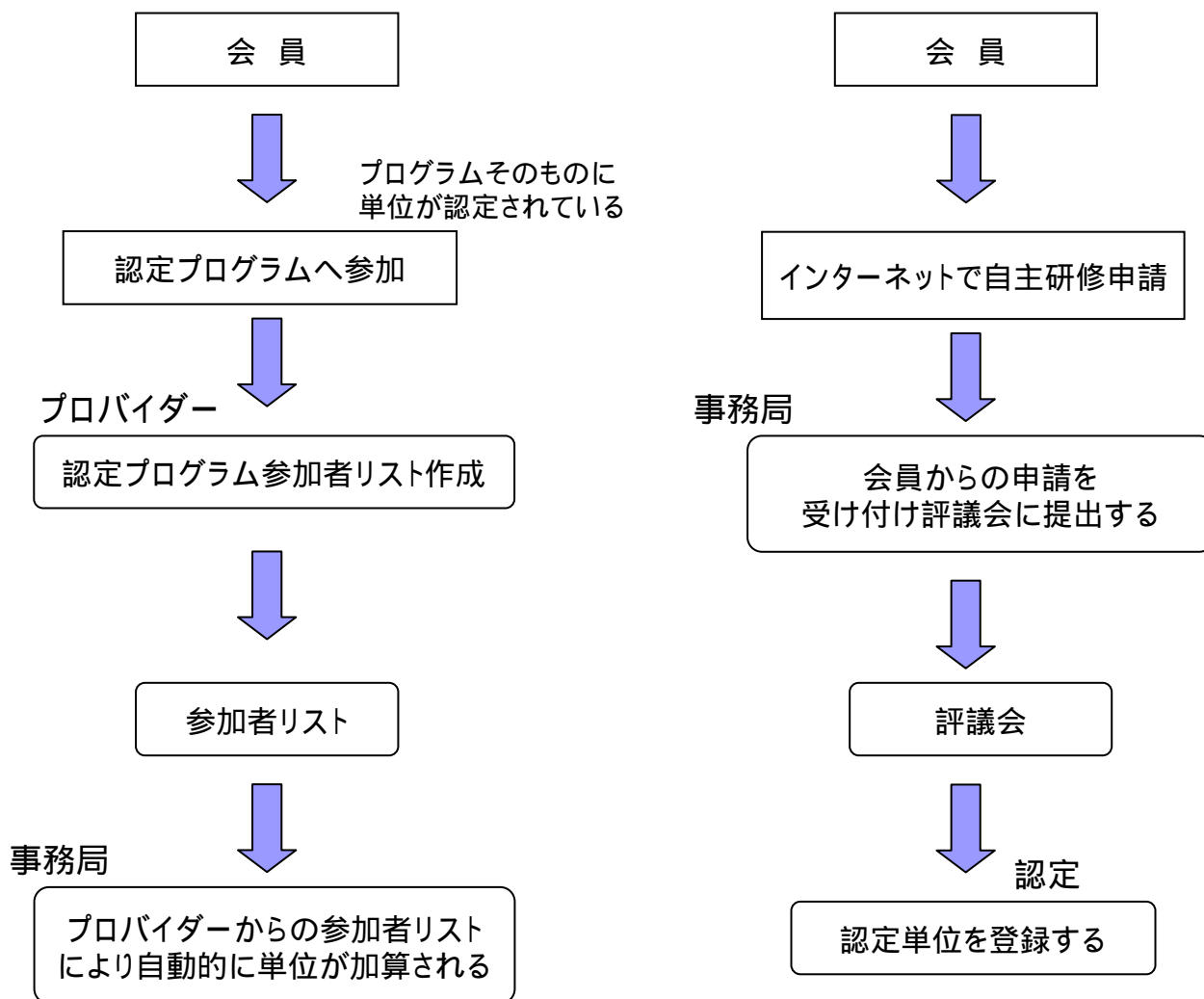
市民に一番近い
建築家であるために



CPD単位取得には2つの方法があります

認定研修プログラム
- 認定プログラムへの参加により単位取得 -

自主研修プログラム
- 自己学習型の研修で自分で申請する -



代理出席は単位になりません

単位について

取得単位数

年間に取得する目標単位数は36です


CPDの対象

CPDの形態	内容	単位数
セミナー・ワークショップ	建築関連のセミナー・WS	参加: 1時間 = 1単位 講師: 1時間 = 2単位
見学会	建築の見学会(自主的な企画も含む)	参加: 1時間 = 1単位 講師: 1時間 = 2単位
視察旅行	宿泊をともなう見学(自主的な企画も含む)	国内: 日数 × 2単位 海外: (日数 - 2) × 2単位
論文執筆	主に住まいや建築に関わるもの	2000文字 = 1単位
論評	主に住まいや建築に関わるもの	2000文字 = 1単位
講演会・シンポジウム	建築関連の講演会・シンポジウム	参加: 1時間 = 1単位 講師: 1時間 = 2単位
懇談会	JIA、関連団体における懇談会	1時間 = 1単位
勉強会・説明会・講習会	建築に関わる勉強会 技術講習会	参加: 1時間 = 1単位 講師: 1時間 = 2単位
職能活動	JIA、関連団体における組織内活動への参加等	2時間 = 1単位
奉仕活動	建築相談、街づくりオブザーバ 応急危険度判定等の活動	1時間 = 2単位
読書	主に建築に関するもの	200ページ = 1単位
その他	上記にあてはならないもの	1時間 = 1単位

自主研修申請の手続

自主研修申請の方法は2004年10月からインターネット方式を採用しています。

操作方法などは「インターネットシステムの手引き」をご確認下さい。



インターネットシステム の手引き

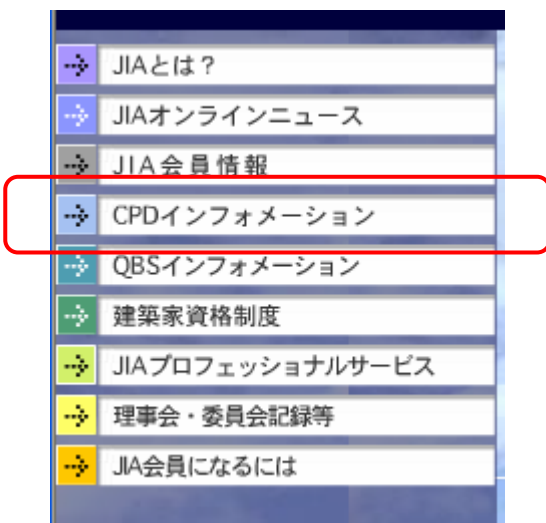
日本建築家協会ホームページ内にあるCPD情報システムでは
自主研修申請、取得単位数の確認をお手軽にご利用頂けます。

自主研修の申請方法

JIAホームページ



日本建築家協会のホームページを表示し、「CPDインフォメーション」をクリックします



ここをクリック

CPDインフォメーションページ



CPDインフォメーションページの「CPD参加者用入り口」をクリックします

■ CPDの申請 がオンラインで登録できるようになりました。自主研修の登録申請はCPD参加者用入り口ボタン、プログラム登録申請はCPDプロバイダー用入り口ボタンをクリックして下さい。

▶▶▶ CPD 参加者用入口

▶▶▶ 認定プログラム一覧

▶▶▶ 認定プロバイダー一覧

▶▶▶ CPDプロバイダー用入口

ここをクリック

ログインページ

JIA 継続職能研修(CPD)

参加者用

JIA継続職能研修(CPD)への参加には、参加者登録が必要となります。
参加者登録がお済みにならない、参加希望の方は参加者登録をお願いいたします。
但し、JIA会員は参加者登録の必要はありません。

ログインが必要です

JIA会員番号と生年月日を入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

JIA会員番号

あなたのJIA会員番号を入力してください（例:7桁の数字 >> 0123456）

生年月日

あなたの生年月日を入力してください（例:1987年1月23日 >> 19870123）

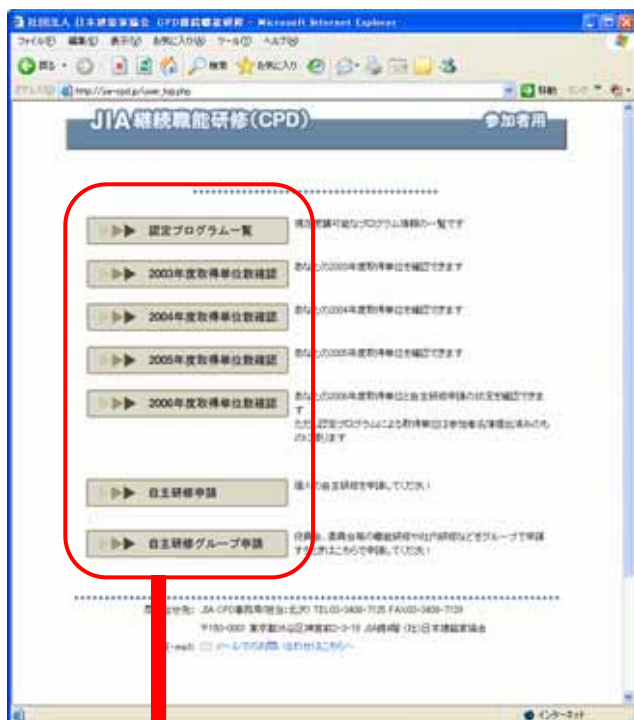
ログイン



ここをクリック

JIA会員番号と生年月日を入力して「ログイン」を押します

参加者用メニュー



ログインして表示されるメニューで「自主研修申請」をクリックします

▶▶▶ 認定プログラム一覧

▶▶▶ 2003年度取得単位数確認

▶▶▶ 2004年度取得単位数確認

▶▶▶ 2005年度取得単位数確認

▶▶▶ 2006年度取得単位数確認

▶▶▶ 自主研修申請

▶▶▶ 自主研修グループ申請


← ここをクリック

自主研修申請画面

▼ 自主研修申請

*印のついている項目は必ず記入してください。

申請年月日	2006年4月11日
会員番号	0000003
氏名	関東甲信越支部
* 研修年月日	2006年04月11日
受講者・講師等の区別	受講者 講師等の場合はお選び下さい。
* 形態分類	- お選び下さい - 該当するものを選択してください。
* 分野	- お選び下さい - 該当するものを選択してください。
研修内容	
* テーマ	
講師	講師が複数の場合は名前を「、」で区切ってください。
主催	
* 内容 (200文字以内)	
* 感想 (200文字以内)	
* 研修時間(読書はページ数、論文執筆は字数)	0 時間 ページ 字
プログラムへの参加履修を証明する書類、また内容・感想などで更に添付するものがある場合は、別途郵送でJIA CPD事務局までお送り下さい。 その際は、下記の郵送書類のチェックボックスをチェックを入れ、確認画面の「コード番号」と「郵送書類番号」を別途郵送書類に記入してください。	
郵送書類	<input type="checkbox"/> 有り

 ここをクリック

各項目を記入し、「次へ」ボタンを押す
自主研修の事例は後ページにて紹介します

確認画面

▼ 自主研修申請

以下の入力情報に誤りはありませんか？
誤りがある場合は「戻る」ボタンをクリックして入力画面にお戻り下さい。

申請年月日	2006年4月11日
会員番号	0000003
氏名	関東甲信越支部
研修年月日	2006年4月11日
受講者・講師等の区別	受講者
形態分類	セミナー・ワークショップ
分野	建築家の社会的役割
研修内容	
テーマ	テスト申請
講師	テスト申請
主催	テスト申請
内容	テスト申請
感想	テスト申請
研修時間(読書はページ数、論文執筆は字数)	1 時間
添付書類	無し

入力情報をご確認いただき、下の「申請する」ボタンを1度だけクリックしてください。

← 戻る

→ 申請する



ここをクリック

確認画面で記入内容を確認したら、「申請する」ボタンを押す

申請受付画面

自主研修申請を受け付けました。

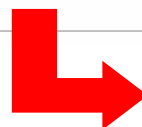
以下の入力情報で、自主研修申請を受け付けました。
このページは印刷するなどして大切に保存してください。

コード番号

▼ 自主研修申請

以下の入力情報で自主研修申請を行いました。

申請年月日	2006年4月11日
会員番号	0000003
氏名	関東甲信越支部
研修年月日	2006年4月11日
受講者・講師等の区別	受講者
形態分類	セミナー・ワークショップ
分野	建築家の社会的役割
研修内容	
テーマ	テスト申請
講師	テスト申請
主催	テスト申請
内容	テスト申請
感想	テスト申請
研修時間(読書はページ数、論文執筆は字数)	1時間
添付書類	無し

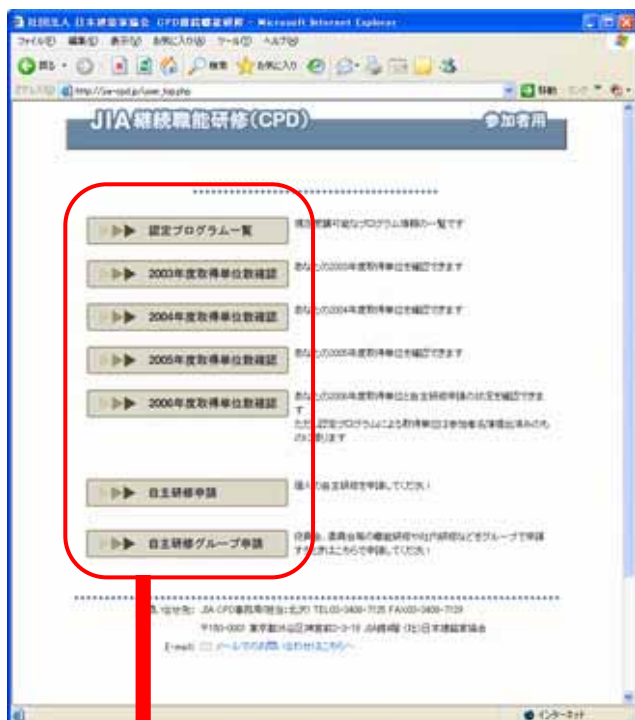


ここをクリック

「自主研修申請を受け付けました」というメッセージとコード番号が表示されたら申請完了です。

「終了する」ボタンを押して申請を終了させてください。

取得単位の確認



ログインして表示されるメニューで各年度の「取得単位数確認」をクリックします



ここをクリック

取得単位数確認画面の読み方

☑ あなたの取得単位

① 取得単位状況表 各項目の詳細 ?

前年度 繰越単位	今年度取得単位		今年度合計 取得単位 (必須単位)	今年度有効 取得単位 (必須単位)	次年度 繰越単位
	認定研修 (必須研修)	自主研修 (必須研修)			
② 12	③ 16 (0)	④ 37 (0)	⑤ 53 (0)	⑥ 36 (0)	⑦ 12

⑧ 分野別取得単位状況

建築家の社会的役割	建築家の実務能力の向上	マネジメント能力の向上	事務所運営について	合計単位
34	19	0	0	53

⑨ 職能活動、奉仕活動の取得単位状況

	職能活動単位	奉仕活動単位
認定研修	0	0
自主研修	12	17
合計	12	17
有効単位	12	12

取得単位状況表

取得した単位の集計表

前年度繰越単位数

前年度からの繰越単位数

認定研修

認定研修で取得した単位の総数 (必須研修は現在実施されていません)

自主研修

自主研修申請で取得した単位の総数

今年度合計取得単位

今年度に取得した単位の総数

今年度有効取得単位

今年度の実質の取得単位数 36単位が上限 36単位が上限

今年度合計取得単位 - (オーバーした職能活動単位 + オーバーした奉仕活動単位)

次年度繰越単位

今年度36単位を超過した分の次年度への繰越単位 12単位が上限

今年度有効取得単位 + 前年度繰越単位 - 36 12単位が上限

分野別取得単位状況

今年度合計取得単位の分野別の内訳

職能活動、奉仕活動の取得単位状況

職能活動と奉仕活動の取得単位数の合計

職能・奉仕活動共に年間12単位の取得上限があり、超えた分の単位は有効になりません

自主研修申請例

見学会

上野公園の前川國男作品の見学 <2単位>

内容:東京都美術館で開催されている『ミュシャ展』を観る機会をかねて、上野公園の前川國男の作品を再見した。

感想:重厚な窯業系で構成された素材東京都美術館は、安手の既製品ばかり扱わざるをえない日常業務に疲れた目には、たいへん新鮮にうつつた。

講演会・シンポジウム

知られざるモダニズムの流れ <3単位>

内容:フランク・ロイド・ライトからアントニン・レイモンド、前川國男の建築をスライドや、各々の建築家の秘話を紹介しながら、近代建築の流れを語った。

感想:懐かしい近代建築の流れを復習する事ができた。三沢浩氏はレイモンド事務所に10年間勤めた方で、アントニン・レイモンドの知られざる秘話を知る事ができて、大変有意義講習会であった。

JIA保存問題群馬大会シンポジウム「シルクの街に建築を求めて」 <2単位>

内容:養蚕・製糸をめぐる近代化遺産の保存活用をめぐり5人のパネラーが実践を報告した。

感想:東京電力から紹介のあったダムは保存例は印象的だった。使い続ける事が社会的責務との意識で取り組んでおられた。

勉強会・説明会・講習会

公共建築工事標準仕様書の改訂について <3単位>

内容:改訂内容の説明ほか

感想:公共建築工事標準仕様書をはじめとする17の技術基準類及び工事書式が「統一基準」として決定されており、非常にわかりやすくなった。

建築士のための指定講習会(東京建築士会主催) <12単位>

内容:最近の法改正について、基準法に対応したシックハウス対策、仕様書及び見積への対応、欠陥建物を造らない、

感想:室内環境、地震対策、木造建築等について最近の具体例を取りあげながらの講習会で、全体的に解りやすい講習会だった。

職能活動

JIA徳島地域会例会 <1単位>

内容:新旧役員について、決算報告、増田塾徳島大会準備

感想:増田塾の設営方法や宿泊手配など準備の打合せに大半の時間を費やした。

富山商工会議所 建設部会 <1単位>

内容:富山市都市整備に関する取り組みについて

感想:まちづくり、いえづくりそして人づくりは永遠のテーマですね。

奉仕活動

欠陥住宅無料相談会 <4単位>

内容:無料相談会に参加

感想:4件の相談を受ける。

街づくり市民団体会議へのアドバイザー <4単位>

内容:来年春に予定している市民向けの集会の内容を審議

感想:市と教育委員会の後援が得られたので進展が期待できる状況となった

読書

ルイス・カーンとはだれか <1単位>

内容:カーンの下で学び、その後も親しくした著者からの建築家ルー・カーン建築観のメッセージ

感想:米国留学中、リチャード・インスティチュートの発表に出会い、まことに興奮したことを思い出した。

CPDとは

CPDとはContinuing Professional Development(継続職能研修)の略です。

日本建築家協会の「職能原則 5 項目」では
2. 専門家能力と研鑽で「建築家は常に芸術的感性を涵養し、新しい知識や技術などの習得を心掛け、専門的経験を積み絶えず研鑽に努めることが必要です」と定めています。

建築家に限らず、医師や弁護士などいわゆる高度専門職業(プロフェッション)といわれる職業人にとって依頼主の信頼に応え、業務を遂行する上で、自己研鑽に努めることは当然の責務とされています。この自己研鑽を確実に実行できるようするとともに、それを社会から見ても明かに見えるようにすることは職能団体の責任であり、また、そうすることが市民の建築家に対する信頼を高めることとなります。そして団体に所属する会員の信頼も確固としたものとなるでしょう。

ところで、JIAは「建築家資格制度」を実現すべく努力を続けてきましたが、CPDはこの資格制度の重要な一環に位置付けられています。

この資格制度は しかるべき教育を受けて学校を卒業した後実務訓練を受け、建築家の資格を取得し、建築の設計監理業務を続ける間、生涯に渡り自己研鑽を続けるという4段階からなっています。そしてこの資格制度の最も重要な視点は、建築家のために必要なのではなく消費者の利益擁護のために必要なのだということです。

したがって建築家にとってCPDのメリットは何かと言えばCPDを第三者からもわかるように制度化することによって、建築家は社会に役に立つだけの能力を持ち、自己研鑽の努力をしている人達だとの認識が得られることで、これにより本来の能力を発揮し、社会のために仕事がしやすくなると期待できるということでしょう。

CPDによる単位取得は、全ての会員が自己研鑽を続けることによって社会の利益に寄与しようとする具体的な自主的実践の一つです。



CPD Q & A

・期間

Q:履修期間はいつからいつまでですか？

A:履修期間は毎年4月1日から翌年の3月31日まで(年度毎)です。

Q:自主研修申請はいつまでに行えばよいのですか？

A:当該年度内であればいつでもご申請頂けます。

また、年度末には延長措置があるのでご確認下さい。

2005年度分は6月30日まで受付いたします。

Q:年間の必須単位をクリアしてしまいそうなのですが、それ以上の単位は認められますか？

A:必要単位数以上は、12単位を上限として、次年度の履修単位に繰り入れられます。

・申請対象


Q:建築とは関係のない分野の学習も自主研修として申請してもいいですか？

A:建築家として特有の研修内容ではない場合は、評議会にて個別検討し、認定されない場合もあります。後述の認定の対象外もご参照下さい。

Q:地域まちづくり活動・オブザーバーや他団体での活動でも自主研修の対象になるのでしょうか？

A:まちづくり活動やまちづくりオブザーバーは奉仕活動、他団体の委員会、役員会、部会等の活動は職能活動になります。

奉仕・職能活動、共に年間12単位の取得上限があり、超えた分の単位は計算の対象になりませんのでご注意下さい。



Q:「建築相談」の活動は自主研修として認定されますか？

A:相談員としての活動は「奉仕活動」として認定されます。相談室等で相談に直接対応した時間が対象となります。

インターネットシステム

Q:参加登録は必要ですか？

A:JIA会員の方は入会の際に、CPDシステムにユーザー登録を行いますので、改めて登録の必要はありません。

Q:どこから申請できるのですか？

A:JIAホームページ内、CPDインフォメーションのページから「CPD参加者用入口」でログインし「自主研修申請」から申請を行えます。

Q:ログインができません

A:ログインには「JIA会員番号」と「西暦の生年月日」を入力します。どちらも正しく入力してもログインできない場合は事務局にご連絡下さい。

その他

Q:自主研修申請のみで必須単位を取得してもよいですか？

A:取得可能です。しかし、その中で職能活動と奉仕活動は年間それぞれ12単位までしか取得できません。

Q:出席したはずの認定プログラムの単位が加算されていなかった場合はどうなるのですか？

A:事務局にご連絡下さい。



認定の対象外

大学等の教育機関における恒常的な講師等(一定の報酬を得て継続的に行う場合。非常勤講師も含む)

修士・博士課程等に再入学して学生としてカリキュラムを受ける或いは研究を行った場合。

建築家としての日常業務

各種設計コンクールなどの表彰式や懇親会のみでの出席

講演会・見学会・建築展等の準備作業等

(但し、委員会・部会・地域会等の活動の延長である場合は、職能活動として認定対象)